

働く人の「こころ」と「からだ」の健康をサポートします！

鹿児島産業保健総合支援センター

# さんぽセンターからのご案内



## 行動災害の予防対策を無料で支援します！

鹿児島産業保健総合支援センターでは、転倒や腰痛等の行動災害の減少により労働者の健康保持増進を図るため、厚生労働省が公表している「労働者の健康保持増進のための指針」に基づいた事業場外資源を活用いただく取り組みとして、産業保健相談員（健康運動指導士）による運動指導等を通じた各事業場への訪問支援を無料で実施します。

年齢別の鹿児島県内の労働災害(休業4日以上)

	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
令和4年	266	389	479	720
令和3年	350	413	503	702
令和2年	285	416	506	649
令和元年	312	351	471	623

60歳以上の労働災害が年々増加！  
年齢層が上がると労働災害も増加！

事故の型別の鹿児島県内の労働災害(休業4日以上)

	転倒	無理な動作による腰痛
令和4年	489	347
令和3年	514	348
令和2年	497	284
令和元年	442	276

腰痛災害が年々増加！  
各年では2つの災害で全産業の34～38%！

### 事業場で取り組む目的

転倒や無理な動作が引き起こす腰痛による労働災害の要因として労働者の高齢化等による身体機能の低下等が挙げられ、その対策として、労働安全衛生法第69条に基づき、事業者は労働者の健康の保持増進を図るための措置を進めることが重要となります。

### さんぽセンターが実施する支援の種類

#### ★ 健康測定・チェック (例)

- 健康度や体力、姿勢の測定
- バランス・ロコモ度チェック
- 職場環境のチェック
- 作業状況から見た転倒防止・腰痛予防対策

#### ★ 社内セミナーの実施・実技指導・運動アドバイス等 (例)

- 転倒防止のためのバランス運動
- 腰痛予防のための運動
- 職場で出来るストレッチ体操
- 作業姿勢の改善や適切な作業管理、作業環境改善等
- メタボ改善に向けた運動指導等

お申し込みフォーム



<https://ssl.formman.com/t/7hBl/>

個人ではなくポピュレーションアプローチ(事業場全体)での取り組みがポイントです！  
健康教育等の機会に当センターの支援をご利用ください。  
ご希望の際はホームページもしくは本チラシの申し込みフォームよりお手続きください。

問合せ先： 独立行政法人 労働者健康安全機構  
鹿児島産業保健総合支援センター

TEL 099-252-8002  
HP <https://kagoshimas.johas.go.jp/>

